

徳川林政史研究所蔵 石河家文書目録（一）

## 凡 例

- 一 本目録は、徳川林政史研究所が所蔵する石河家文書のうち三九七点に  
関するものである。石河家は、尾張藩の年寄役を代々つとめた家柄で、  
初代石川光忠が慶長二年(一六〇六)に徳川家康の命により駿府へ出  
仕したのをはじめとして、同一五年には濃州・摂州に新知一万石を与え  
られ、慶長一七年には徳川義直の付属に転じた。二代正光は、慶安五年  
(一六五二)に初めて尾張藩の年寄役に列し、以後歴代にわたって年寄役  
に任ぜられている。なお石河家では、当初「石川」の字を用いていたが、  
享保一七年(一七三二)九月、旧に復して「石河」と記すようになった  
といわれる。当研究所の保管書類である「研究室事務報告(一)自昭和  
十年一月至十四年十二月」によると、本史料群は、昭和一〇年(一九三  
五)に名古屋より東京へ移送されたとあり、同時期に石河家より寄贈さ  
れたことが知られる。またこのほか、昭和四二年(一九六七)には、木  
箱入りの石河家文書一箱を古書店から購入した旨の記録が残されており、  
戦前期の寄贈分と戦後の購入分とが混在する形をとっている。
- 一 本目録に採録した項目は、①番号、②表題、③年月日、④差出(また  
は作成者)↓宛所、⑤形態・数量、⑥備考、の六項目とした。
- 一 番号は、原則として過去に当研究所において付された番号を利用した  
が、一部については、今回の整理・目録化作業にあたり、出納・管理の  
便宜を考慮して新たに番号を付与したものがあつた。
- 一 表題は、原則として原表題を記し、必要なものについては適宜(一)  
を付して内容を補記した。また、戦前期に当研究所において製本され、

新たな表題が付けられたものについては、「(一)」を付けて示すことにし  
た。典籍の場合は、原則として内題(巻頭題)を採用し、外題を「(一)  
付きで直後に示すことにした(ただし、内題と外題が同じものに関して  
は「(一)」の表記は省略した)。

- 一 年月日は、原則として文面に記載されている年月日(内容年)を示す  
ことにし、目録作成時に推定した部分については「(一)」を付けて適宜表  
記した。また、年次記載がないもの、おおまかな作成年代がわかる場  
合には(寛政)寛政以降(寛政→文化頃)あるいは(江戸)(明治)などと  
(一)を付して該当する年号や時期を示すことにし、推定不能の場合には  
(年未詳)とした。

一 差出(または作成者)↓宛所は、差出人または作成者を矢印の前の部  
分に示し、宛所となっている人名を矢印の先の部分に置いた。差出人や  
宛所が複数からなる場合には、初筆の者または内容から判断して最も適  
切と考えられる者を一名掲出し、このほかについては「他〇名」という  
ように略記した。また典籍の場合には、著者・编者・版元などを採録し、  
「(一)〔著〕」、「(一)〔編〕」、「(一)〔版〕」などと表記することにした。

- 一 形態については、状(一枚物・継紙)・縦(縦帳)・横(横長帳)・横半  
(横半帳)・綴(作成契機の異なる複数の史料を綴ったもの)鋪(絵図)・  
帖(折本)などと示した。また、戦前期に当研究所において複数の史料  
を合綴して製本したものに關しては、特に「縦綴」「横綴」などと表記  
した。

一 数量は、出納・閲覧の便宜を考慮し、後年の改装により分冊あるいは  
合綴されたことが明らかの場合でも、現在保存されている状態での点数  
を採用した。

一 備考には、史料の概略や欠本・合綴・改装の状態など、必要と思われる事柄を\*印を付けて適宜記した。

一 本史料群には、戦前期に当研究所において複数の史料をまとめて製本した合綴史料が数多くみられる。これらについては、その細目を丸番号を付けて列挙することにした(ただし、丸番号は収録順序を示す目安に過ぎず、細目に該当する個々の史料に実際に番号が付されているわけではない)。なお、細目の各項目における配列は、表題、年月日、差出(または作成者)宛所、備考の順とし、それぞれを二字アキで示したが(細目の備考については、冒頭に\*印を付した)、該当する項目に関する記載がない場合には、省略して表記している。

一 複数冊からなる史料については、「第一冊」などと冊番号を示したのち、表題、年月日、差出(または作成者)宛所、備考を二字アキで示した。

一 本目録は、平成一四〜一六年度に行った研究員・研究生による夏季集中史料整理の成果の一部である。調査参加者は、太田尚宏・白根孝胤(以上、研究員)、石山秀和・浦井祥子・倉持隆・坂本達彦・渋谷葉子・田原昇・中村佳史・西光三・宮原一郎・山崎久登(以上、研究生)の一名である。なお、採録された整理カードの内容点検と調整・原稿化作業は、太田尚宏が担当した。

【参考】 石河家歴代当主の略歴(明治三年まで)

初代 光 忠 「市正・太八郎 初名太郎八」

慶長一三年冬

家康の命により一五歳のときに駿府へ出

仕

慶長一五年一〇月二日 濃州・摂州に新知一万石を与えられる

慶長一七年 義直に付属する

寛永五年九月一九日 死去 法名は玄信

二代 正 光 「伊賀・太郎八 初名加助」

寛永五年 家督相続

寛永一九年 寄合に属し触流の仰せを蒙る

慶安五年九月 年寄役となる

寛文四年六月二日 御役御免となる

寛文一一年九月一〇日 死去(五七歳) 法名は蓮花院

三代 章 長 「隠岐守 伊賀・伊賀守・大和守・出羽守・佐渡守・大和

守 初名七郎左衛門 隠居名章長」

万治元年 初めて藩主に御目見をする

寛文一一年一〇月 家督を相続し、大寄合に属す

寛文一二年四月一五日 伊賀と改名する

延宝三年三月二六日 年寄役となる

延宝五年一二月二八日 諸大夫となり、伊賀守と改名する

貞享元年一二月二五日 大和守と改名する

貞享二年六月二三日 出羽守と改名する

元禄元年一二月六日 佐渡守と改名する

元禄三年一二月四日 大和守と改名する

元禄一二年一二月一三日 隠岐守と改名する

宝永三年二月九日 隠居し、章長と名乗る

宝永五年五月四日 死去(六〇歳) 法名は章長院

四代 正章 「出羽守 太八郎・鞠負・大炊 初名幸七郎 隠居名愚翁」

元禄七年一〇月四日 初めて藩主に御目見する

元禄一三年一二月二日 鞠負と改名する

宝永三年二月九日 家督を相続し、大寄合に属す

宝永三年三月二五日 年寄役となる

宝永四年正月 大炊と改名する

享保四年一二月二日 諸大夫となり、出羽守と改名する

享保一六年六月一五日 隠居する

享保一六年八月 愚翁と名乗る

宝暦三年七月二八日 死去(七〇歳) 法名は清静院

五代 忠喜 「伊賀・太八郎・隠岐 初名七太郎」

享保四年九月二日 藩主に初めて御目見をする

享保七年二月二〇日 太郎八と改名する

享保八年二月 隠岐と改名する

享保一七年六月一五日 家督を相続する

享保一七年九月 「石川」を「石河」と改め、伊賀と改名する

享保一八年六月二二日 死去(二八歳) 法名は真源院

六代 光當 「伊賀守 雅楽・伊賀 初名千次郎」 実は出羽守正章の

二男

享保六年四月二二日 石川兵庫の名跡を継ぎ、普請組寄合とな

る

享保一六年四月二九日 御書院番頭となる

享保一六年九月一九日 御用人となる

享保一八年八月二二日 兄伊賀(忠喜)の名跡を継ぐ

享保一九年二月 伊賀と改名する

元文四年八月六日 年寄役となる

元文五年一二月二日 伊賀守と改名する

安永二年七月二三日 死去(六一歳) 法名は徳源院

七代 光壽 「伊賀守 太八郎・一学 初名銀次郎」 実は伊賀守光當

の四男

寛延元年一〇月二五日 石河三蔵の名跡を継ぐ

明和五年二月一五日 父伊賀守光當の内願により嫡子となる

明和五年三月一日 太八郎と改名する

明和八年八月五日 御側同心頭御用見習となる

明和八年一〇月二六日 御側同心頭となる

安永二年九月一四日 父伊賀守の遺跡を継ぐ

安永二年一〇月一日 年寄役となる

安永三年正月二日 諸大夫となり、伊賀守と改名する

文化二年七月一七日 御用方ならびに加判御免となる

文化六年四月二〇日 死去(六四歳) 法名は乾龍院

光豊 「太郎八 初名初次郎」 実は太郎八光堅(賢カ)の嫡子

安永九年正月一五日カ 伊賀守光壽の養子となる

天明元年正月二二日 太郎八と改名する

享和二年八月二四日 御側大寄合御用見習となる

享和三年五月二二日 死去(四〇歳) 法名は縁樹院

八代 光茂 「伊賀守 太八郎 初名幸七郎」 実は太郎八光豊の嫡子

文化三年二月九日

祖父伊賀守光籌の願いにより嫡孫承祖が認められる

文化六年六月一〇日

伊賀守光籌の遺跡を継ぎ、諸事光籌の通り勤めるべき旨を仰せつけられる

文化九年二月一日

加判(年寄役)となる

文化一二年九月一日

加判御免となる

文化一四年一月二四日

加判となる(再勤)

弘化三年二月三日

諸大夫となり、伊賀守と改名する

嘉永元年一〇月二四日

出羽守と改名する

嘉永六年

隠居する

慶応三年

死去

九代

光 晃 「太八郎・佐渡守・太八郎 初名孟二郎」

嘉永六年六月二九日

家督を相続する

嘉永六年九月二八日

加判となる

嘉永六年一〇月二日

太八郎と改名する

安政四年十二月二日

諸大夫となり、佐渡守と改名する

明治元年一月二四日

官位返上により、佐渡と名乗る

明治二年正月一五日

刑事知事を仰せつけられる

明治三年九月

明治政府より笠松県貫属を仰せつけられる

(以上は、石河家文書一〇二二「系譜」および「藩士名寄」による)

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

一	章長院様御法事二付御上京諸事留	宝永五年正月	杉山奥内	縦	一
二	御参府御暇御公務之留	(享保元〜二年)		縦	三
	第一冊 御参府御暇御公務之留一	(享保元〜三年)			
	第二冊 御参府御暇御公務之留二	(享保五〜七年)			
	第三冊 御参府御暇御公務之留三	(享保八〜十二年)			
三	江府二而浅野豊前様江御逗留中御会釈留〔江府留・浅野豊前様之御逗留中御会釈留〕	享保二年		縦	一
四	徳源院様御代御参府并御暇之留六	宝曆元年		縦	一
	*「六」のみが残存。				
五	宝曆十三年三月廿八日御国許江之御暇被進候其節御供二付而登城御目見拝領物等之留〔公儀御目見拝領物留〕	宝曆十三年三月二十八日		縦	一
六	御在府中金子おくり帳〔御在京中金子おくり帳〕	明和八年三月	浅川久之丞	横	一
七	御継目為御礼御参府留	安政三年三月		縦	一
八	御参府并御暇之留	安永六年		縦	一
九	〔御家督二付御参府其外諸事留〕	文化六年	御供御用人 加嶋清八郎・深尾倭兵衛	縦綴	一
	① 御家督二付御参府其外諸事留	文化六年	御供御用人 加嶋清八郎・深尾倭兵衛		
	② 御参府二付御土産物并奉手紙留	文化六年一〇月	御供御用人 加嶋清八郎・深尾倭兵衛		
一〇	御参府中諸事留	文化一二年正月	御供御用人 杉山藤右衛門・深尾倭兵衛	縦	一
二	御在府中御勘定役方御金上帳	文化一二年		横	一
三	御参府中諸事留	文化一二年正月	御供御用人 杉山藤右衛門・深尾倭兵衛	縦	一
三	御参府調并御道中日記	嘉永七年二月	御右筆方	縦	一

\*嘉永七年二月より五月まで記載。

番号表 題

年月日

差出(作成)宛所

形態・数量

二四	御参府并御詰之留下〔御参府并御詰の留下〕	嘉永七年三月	御家老方	縦	一
二五	御上京御留下 *文久三年正月より八月まで記載。	文久三年正月	御家老方	縦	一
二六	御領知村々方御在府二付非常為御手当御呼下人夫之覚 〔江戸下帳〕	文久三年三月 〔文久四〜元治二年〕	御代官	横	一
二七	① 江戸下帳 文久四年子正月 ② 江戸下帳 御勝手方 元治二年丑正月			縦	一
二八	御黒印目録・拝領高附	慶安四〜元禄六年		縦	一
二九	嫁娠礼式・家作音信贈答追々相伺極之品	寛文九〜元禄六年		縦	一
三〇	屋敷被下候御定 *付箋に「是ハ古帳歟」と記されている。貼り込み文書一通あり。	貞享三年一二月		縦	一
三一	御往来翰 *宝永七年三月〜同八(正徳元)年正月までの記事がある。	宝永七年三月		縦	一
三二	江府覚書帳 *内題に「宝永八辛卯歳為御留守二月参府、同四月十三日御発駕・御帰国」とあり。	(宝永八〜正徳二年)		縦	一
三三	〔在江戸覚書〕 ① 正徳四年在江戸覚書 正徳四年 ② 江戸覚帳 (宝永五〜六年) ※「公義御代替」(宝永六年)が貼り込まれている。	(正徳四〜宝永六年)		縦	一
三四	在江戸覚書 *享保五年三月から同六年三月までの記事を収める。	享保五年		縦	一
三五	享保六丑年之例を以調之 七里定格	(享保七年頃カ)		縦	一
三六	殿様尾州御留守中御名代	享保七年三月		横	一

三七 科人御仕置之品并妻子片付品之極・御精進日之節諸士御  
仕置申渡之儀ニ付極(科人御仕置之品并妻子片付品之格・  
御精進日之節諸士御仕置申渡の儀に付格) 享保七年一〇月 縦 一

三六 三丸片端屋鋪先住方追々当任迄附録 享保一五年九月 横・小 一  
御時宜老衆尋ニ付書付指出候扣 元文四年正月 縦 一  
\*中表紙に「元文六年酉二月 杉山三右衛門記之」とあり。 杉山三右衛門

三〇 江戸自分覚留帳 宝永三丁四年 縦 一  
\*「宝永三歳三月ヨリ翌年四歳三月ニ至ル」とあり。

三一 御給人以下士分已上勤年数御加増年限調(御給人以下士  
分以上勤年数御加増年限調) 慶応二年一二月 横 一  
〔年賀人名簿〕(正月朔日家臣人名書上) (慶安四年頃)

三二 \*末尾に「此規式帳慶安四五年之比与相見候」とあり。

三三 御城帳書抜 享保一二年 横 一

三四 諸役席順 (江戸) 横半 一

三五 御在・御留守江戸老年分 大殿様衆御扶持并人数之覚(大  
殿様衆御扶持并人数之覚) 西一〇月 縦 一

三六 〔御家中御扶持并人数之覚〕 西一〇月 縦 二

三七 第一冊 江戸御留守一年分 御家中御扶持并人数之覚 西一〇月  
第二冊 御在江戸老年分 御家中御扶持并人数之覚 西一〇月

惣帳(寄合以下家臣名寄帳) 慶安三丁四年 縦 一

三九 \*貼紙に承応年中のものとなり。内容は瑞龍院(二代藩主徳川光友)御代初期の家臣名寄。  
惣帳箱有之御定書之内 (江戸) 縦 一

\*「瑞龍院様御代御定書上卷之内御目見之御定」〔同御切米取衆養子御目見申上覚〕〔同御鷹匠衆子共兄弟御目見ニ出候覚〕〔瑞龍院様御代御定書中卷之内  
諸事御仕置之御定〕〔同付火仕候者御仕置之覚〕などの記事からなる。



番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三九 仲滿衆方借用之写留之古手鑑

(正徳元〜享保二年)

横半 一

\*「御宮・御仏殿御参詣御代参之覚」「御在国之節御精進日年寄中登城有無之覚」「惣而御祝儀事其外之儀ニ付国元在所方使者并通り使者来候節之事」「(御近所出火につき対応の覚)」「御役替被召出隠居家督之節頭引加申渡輩」などの記事からなる。

四〇 掛り物箱ニ入候帳書付等之写

(元禄七〜享保一年)

縦 一

\*「御領分ニ通衆江大寄合以上罷出候御定帳」「通衆御礼状之儀ニ付御用人方出候覚書」「死罪御仕置除候日之書付并付紙」「定光寺御名代之定并御役御免隠居年寄中御城代隠居家督申渡定帳」「七里申来書抜其外覚書之寄帳」「諸士伊勢参宮并湯治等御暇被下置候分ケ奉伺相極候覚」などの記事からなる。

四一 御役替・家督遺跡交代申渡候覚(御役替・家督遣諸・更代申渡の覚)

(正徳二〜三年)

縦 一

四二 卯年御留守詰

(享保八年カ)

横 一

四三 御留守火事御定

卯四月

縦 一

\*尾張藩江戸屋敷出火時の対応をまとめたもの。  
御留守姫君様御退之心得 急火之時  
\*出火時における姫君退去の行列図あり。

享保六年四月

幡野弥大夫

縦 一

四四 御用番取扱候覚書

(江戸)

阿部縫殿

縦 一

四五 藩士名寄ノ一部

(江戸)

縦 一

四六 初心江戸御用覚書

宝永四年

横 一

\*石河正章が初めて御役についた際につくられた勤方留。  
公義 御目見以上之順大概

(江戸)

横半 一

四七 御留守 火事御定別紙

(江戸)

縦 一

四八 乱心者見聞之覚書

(元禄一〇年)

横 一

四九 瓦林村元禄八亥年御内検帳末之写

元禄八年一月

三輪四郎兵衛

縦 一

三 中島郡駒塚村野方田畑反別改帳 寛保三年二月三日 小林角大夫 ↓ 駒塚庄屋・組頭・惣百姓中 縦

三 中沢御新田反別帳 文政六年二月 沼新田 中沢御新田支配 庄屋 矢右衛門 他三名 ↓ 稲葉松之進殿 縦

五 御殿高替地配符 文政一一年九月 御代官扣 横

五 田畑荒所御改帳 安政四年九月 東横山村庄屋 中島恒三郎 他一名 ↓ 御代官御役所 縦

五 田畑荒地書上帳 安政四年九(一〇)月 西横山村庄屋 寺井淺藏 ↓ 御代官御役所 縦

五 他領江本物返シ質物ニ遣置候田地御取戻シニ付一札 元禄一六年六月 曾井村庄屋 三四郎 他三名 ↓ 上原柔右衛門殿 他一名 縦

五 [拝借金質物田地証文] 享保一〇年一月 横綴

① 拝借金質物田地証文帳 大浦村中 享保一〇年一月

② 拝借金質物田地証文帳 成田村 享保一〇年一月

③ 拝借金質物田地証文帳 北今ヶ淵村中 享保一〇年一月

五 御蔵封印御勘定役・御徒目付江渡帳 寛政二年八月 近藤為次郎 横

六 福住延米会所運上取立帳 文政一〇年七月ヨリ 横

六 [金銀渡帳] (天保一五、明治三年) 縦綴

① 金銀渡帳 天保一五年正月 御代官

② 御領知難波者御救として被下金割賦帳 明治三年二月 惣代元締 高橋吾左衛門

六 金銀渡請取調印紙帳 天保一五年 御代官方 縦

六 御貸附金拝借証文 弘化二年二月 石河太八郎領分 濃州大野郡乙原村 拝借人 庄屋 長藏 他一名 ↓ 小田又七郎様 五条 御役所 縦

六 御貸附金拝借証文 弘化二年二月 石河太八郎領分 濃州大野郡乙原村 拝借人 長藏 他六名 ↓ 小田又七郎様 五条 御役所 縦

六 御貸附金拝借証文 弘化二年二月 石河太八郎領分 濃州大野郡乙原村 拝借人 長藏 他六名 ↓ 小田又七郎様 五条 御役所 縦

番号表 題

番号	題	年月日	差出(作成) ↓ 宛所	形態・数量
空	金銀出納書上ケ帳	嘉永五年	御勝手方	横 一
突	御領知諸雜費渡帳 *表紙に「五冊之内」と記されているが、一冊のみ残存。	(文久元〜慶応二年)	御代官方	縦 一
空	御参府・御上京等御入用村々減高割調達金元帳	文久二年一〇月より	御代官役所	横半 一
六	妙道院口覚帳	文久三年九月	御目付役所	横半 一
六	地代金四月中皆済不致分利足取納帳	明治四年一二月		縦 一
七	御参府諸事留 下	文久三年二月	御用人方	縦 一
七	就御用他所へ遺状之留并切紙留	(寛文二〜三年)		縦 一
七	御即位ニ付御用之御状留	寛文三年四月二日		縦 一
七	御在京中御手紙留	貞享四年四月一日		縦 一
七	御在京中御状留	貞享四年四月		縦 一
七	右兵衛督様御成之節諸事留帳	(元禄二一年)		縦 一
七	民部様御越之節帳面	元禄二二年三月九日		縦 一
七	被仰出留之内書抜	享保二年一月		縦 一
	第一冊 被仰出留之内書抜 享保二年一月			
	第二冊 被仰出留之内書抜 御扣 享保二年一月			
六	(七太郎様初而御目見之節留・七太郎様御額被為直候節留・御同人様御前髪被為執候節留・太郎八様御改名ニ付留)	(享保四〜八年)		縦 一
六	庄九郎様御登ニ付諸事留	享保七年三月	奉行 檀山奥内	縦 一
六	諸事留	(享保一〇〜一四年)		縦 一

- 八 公儀御献上物之留 附在府之節公辺御勤品共誌之〔公儀御献上物御留〕 (享保一三、一七年) 縦
- 三 御留守居江之書通留一  
\*二二のみ残存。 (享保一四、一七年) 縦
- 三 御自分状 江戸・尾州 享保一六年 縦
- 六 西国・四国・中国辺稲虫之儀御城帳書拔 享保一七年八月二七日 縦
- 五 享保十九寅年正月廿一日夜亀次郎様御出生之留・同廿一辰年五月六日夜太三郎様御出生之留 (享保一九、二二年) 縦
- 六 竹千代様御髮置御祝儀御城帳書拔 元文四年一月 縦
- 七 諸事留 (元文四、延享二年) 縦
- 六 寛保式戌七月十五日・廿四日御城帳書拔〔御城帳書拔〕 寛保二年七月 縦
- 九 〔太八郎様御額御直御袖被為留候留〕 延享三年九月 縦
- ① 太八郎様御額御直御袖被為留候留 延享三年九月
- ② 御額直二付御到来并御返礼帳 延享三年九月二二日
- ③ 御額直二付御到来并御返礼帳 延享三年九月二二日
- 六 延享四卯年御城帳書拔 延享四年 縦
- 九 徳源院様御代御家用御状留帳 宝曆三年正月 縦
- 三 御城帳書拔 宝曆四年 縦
- 三 御本丸御城帳抜書 (宝曆六年) 縦
- 六 太郎八様大曾根御下屋敷江御泊懸ケ御越被遊候留書帳 宝曆八年 縦
- 五 正・五・九月伊勢・津島御祓御守護差上方留書 宝曆一一年五月 縦
- 六 志水甲斐様公辺御勤始候付御問合有之留書抜被遣候草案 宝曆一三年三月 縦

番号	表題	年月日	差出(作成)↓宛所	形態・数量
九七	徳源院様御代 公辺御状并御伺書	(宝曆一二)安永二年		縦 一
	*はさみ込み文書あり。			
九八	御任官留	(安永二)寛政八年		縦 一
九九	覚(奉公人欠落ニ付請人より申上候書付)	天明三年九月二日	美濃屋半右衛門	縦 一
一〇〇	上々様并御家門様方其外御精進日帳	天明六年五月	御用人方	縦 一
一〇一	御続帳 下調	(寛政一二)文政一三年		横・小 一
一〇二	文化五辰年当半蔵様御前髪御執被成度ニ付御願并御済口 且御勤向等申参候一件(半蔵様御前髪御一件留)	文化五年		縦 一
一〇三	御家督留	文化六年六月	御家老方	縦 一
	*文化六年六月より同八年二月まで記載。一冊とも同内容。			
一〇四	覚(御用番中勤方覚書)	文化九年		縦 一
一〇五	申継帳	(文化二)一三年		横 四
	第一冊 申継帳 七拾 文化二年正月			
	第二冊 申継帳 七拾五 文化七年正月			
	第三冊 申継帳 七拾七 文化九年正月			
	第四冊 申継帳 八拾壹 文政一三年正月			
一〇六	[御分家へ御内証分け被為在候度万石御都合被仰出一条 の留](御勝手御指支之儀書留綴)	(文政元)八年		縦綴 一
	*外題に関わるものは冒頭に綴じ込まれた同名の袋のみ。			
	① 御分家江御内証分け被為在候処万石御都合被仰出候一条之留(袋)	文政八年	御家老方	
	② 公私借財之覚	申二月		
	③ (御勝手必至御指支ニ付諸御勤御赦免其外御願品并蔽敷御省略之次第)	(文政元年)		
一〇七	駒塚延米知多郡福住村江出会所一件留	文政九年	御勝手方	縦 一

二〇八 村々江遣ス差紙留 文政一〇年 縦 一

二〇九 村々江遣ス差紙留 文政一二年 縦 一

二一〇 諸事留 (文政一、二、嘉永三年) 御勝手方 縦 一

二一一 太真様御逝去ニ付紀州江御代香勤向留 文政一二年七月 縦 一

二一二 紀州太真様御逝去ニ付御代香御勤被遊候諸事留 文政一二年七月 縦 一

二一三 裏印留(村方入用金其外金子借用証文等之儀ニ付) (文政一三、明治三年) 御代官役所 縦 一

二一四 年頭・暑寒 御家用御状御文言根極(年頭・暑寒 御家用御状御文書帳) 文政一三年九月 御右筆方 縦 一

二一五 孟二郎様御事本田伊予守様御娘於竹様与御縁組御内約御整ニ付伊予守様御家老中条一右衛門為御使者罷越候付取扱方之覚(孟二郎様御縁組に付一冊) 天保三年四月一五日 岩田瀬兵衛扣 縦 一

二一六 御用取扱留 一 (天保三、四年) 御家老衆留記懸り 丹羽重藏扣 縦 一

二一七 御用取扱留 二 \*天保三年二月より同四年二月まで記載。 御家老衆留記懸り 丹羽重藏扣 縦 一

二一八 御用取扱留 三 \*天保五年二月まで記載。 御家老衆留記懸り 丹羽重藏扣 縦 一

二一九 御用取扱留 五 \*天保六年二月まで記載。 御家老衆留記懸り 丹羽重藏扣 縦 一

二二〇 大御目付衆・御目付衆御触留 \*天保八年二月まで記載。 御家老衆留記懸り 御右筆組頭 縦 一

二二一 御目付衆・御目付衆御触留 \*天保九年二月まで記載。 御家老衆留記懸り 御右筆 縦 一

二二二 御用取扱留 七 \*天保一〇年二月まで記載。 御家老衆留記懸り 御右筆 縦 一

番号表題

年月日

差出(作成) ↓宛所

形態・数量

二三	御用取扱留八 *天保一一年九月二四日まで記載。	天保一一年正月	御家老衆留記懸り 御右筆	縦	一
二三	大御目付衆・御目付衆御触留 *天保一二年一月まで記載。	天保一二年正月	御家老衆留記方	縦	一
二四	孟二郎様御用・御家用御状留 御任官留	天保一五辰年 弘化三年		縦	一
二五	諸願達御濟口并被仰出留	嘉永三年	御家老方	縦	一
二六	諸願達御濟口并被仰出留	嘉永四年正月	御家老方	縦	一
二七	諸願達御濟口并被仰出留	嘉永五年	御家老方	縦	一
二八	御継目御礼御参府諸事留 下書〔御参府諸事留〕	嘉永六年	懸り御用人 堀田郷右衛門 他一名	縦	一
二九	諸願達御濟口并被仰出之留	嘉永六年	御家老方	縦	一
三〇	寄合組御備調帳〔寄合組御調帳〕	嘉永六年三月ヨリ		縦	一
三一	袋入御傘為御持方御願・御府内御供御届帳吟味諸事留 *二冊ともほぼ同内容。	嘉永七年		縦	二
三二	御家用御状留 江戸・尾州	安政二年正月		縦	一
三三	供奉御帰国留 下書〔供奉御帰国留 下言〕	安政二年二月ヨリ		縦	一
三四	御届留	安政四年ヨリ		縦	一
三五	御任官御留	安政四年一二月	御用人方	縦	一
三六	〔諸事留〕	(安政元カ〜六年)		縦	四

第二冊 諸事留 (安政二年カ)

第三冊 諸事留 安政五年

第四冊 諸事留 安政六年

二六 安政五午年御用申継帳〔御用申継帳〕 御勝手方

二三 万延元年諸事留 (万延元年) 縦 二

第一冊 万延元年諸事留(一) (万延元年)

第二冊 万延元年諸事留(二) (万延元年)

二四 尾州表江之文通留〔尾州表之文通留〕 御用人

二二 諸事留 文久三年 縦 一

\*表紙には「十二冊」という記載があるが、一冊のみ残存。

二四 御用申継帳 文久四年正月ヨリ 御勝手方 横 一

二三 諸事申渡留 (文久二、慶応三年) 御代官 縦 一

二四 御役替并御加増御褒美等之留 (文久二、四年) 御家老方 縦 一

二五 御城書御目付触 拔書〔御城書并大御目付触積書〕 御用人 縦 一

二六 諸事留 (江戸) 縦 一

二七 西筋御出張留 (元治元、慶応元年) 御供御用人 杉山弥一 左衛門 他二名 縦 三

第一冊 西筋御出張留 三冊之内卷 (元治元年九月、十一月)

第二冊 西筋御出張留 三冊之内式 (元治元年十一月、慶応元年一二月)

第三冊 西筋御出張留 三冊之内三〔御附属表御番江付候書類・御行列附・尾州、京都大坂芸州長防両国御出張中御目付触等留記〕 (元治元、慶応元年)

二八 御月番当分留 (慶応二年) 縦綴 一

① 御月番当分留 慶応二年正月

② 御月番当分留 慶応二年五月、六月



番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

- ③ 御月番当分留 慶応二年九月
- ④ 御月番当分留 慶応二年二月

諸事留(長州征伐其二付)

慶応二年

縦 二

\*長州征討その他の政治向きに関する諸書付を書き留めたもの。

天機伺御使御上京諸事留

慶応三年正月四日

縦 一

\*正月四日より二月一日までの記事を収める。

[諸事留六]

(慶応四〜明治二年)

縦綴 一

- ① 諸事留六 慶応四年
- ② 諸事留七 明治二年 ※「七」が塗抹されている。

諸事申渡留

(慶応四〜明治三年)

御代官

縦 一

\*慶応四年二月一日より明治三年二月までの記事を収める。

諸事留

(宝永八〜嘉永六年)

縦・横 三

- 第一冊 諸事留 (宝永八〜天明四年) ※形態は横帳
- 第二冊 諸事留 (文化三年)
- 第三冊 諸事留 (嘉永六年) ※「文化六年」という後筆があるが、嘉永六年の誤りであると思われる。

御領知例格留

(江戸)

長坂紋左衛門(著) 杉浦善太夫(増補)

縦 一

\*宝永〜享保の尾張藩主の命による地方支配の格例をまとめたもの。

御隠居・御家督ニ付江戸表文通留 下書(御隠居・御家督 (嘉永六年) 二付江戸表文通留)

縦綴 一

- ① 御隠居・御家督ニ付江戸表文通留 下書 (嘉永六年)
- ② 御隠居・御家督取扱一件 (嘉永六年)
- ③ 御府内供連覚 嘉永六年六月 山野主水正家来 大石田小六

一五 芸州諸事留 御家老衆(芸州諸事留 御家老宛) (江戸) 縦 一

\* 宝曆頃から文化年間に至る書簡類を書き留めたもの。明治三年付の貼紙がみられる。

一五 中納言宗春卿御任官御使京都留(中納言宗春卿御任官御使京都御使留) (享保一七〜一八年) 縦 一

三稲繰出新田諸事留

一五 明治七年五月ヨリ 横 一

\* 明治七年五月ヨリ同一一年一月までの記事を収める。

一五 明治元年辰暮御入用前積(御入用前積) 横 一

殿様御在国中日記

一六 宝曆三年四月一九日 縦 一

\* 表紙に「他見無用」とあり。

一六 御代替御初而御在国中覚書(御在国中覚) 宝曆一三年卯月 縦 一

\* 四月一六日より一月二二日までの記事を収める。

一六 御在国中覚三 (天明元〜二年) 横・小 一

\* 天明元年八月一〇日より同二年八月一五日までの記事を収める。

一六 御在国中勉覚帳 (天明三〜四年) 横・小 一

\* 天明三年四月一一日より同四年二月一九日までの記事を収める。

一六 御在府中日記簿(御在府中日記) (天明六〜七年) 横・小 三

第一冊 御在府中日記簿

(天明六年三月〜六月)

第二冊 御在府中日記 (天明六年六月〜一〇月)

第三冊 御在府中日記 (天明六年一〇月〜天明七年三月)

一六 御留守勤方覚二 (子三月) 横・小 一

\* 三月一日より六日まで記載。

一六 御在府中勤覚 (寛政三年) 横・小 一

\* 三月二二日より九月二〇日までの記事を収める。

石河家文書目録(一)

番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

一六 御在国中覚一

(安永九年)子二月

横・小一

\*中表紙に「子二月新既御目見ヨリ同御発駕迄」とあり。二月一日より三月一日までの記事を収める。

一六 御在国中勤日記

(天明五、六年)

横・小一

\*天明五年三月二日より同六年三月九日までの記事を収める。

一六 丑之年務覚書(殿様在国中日記)

(宝曆七、八年カ)

縦 一

\*丑四月一日から寅三月二日までの記事を収める。

一七 在邑中殺生覚

(寛政三、一二年)

横・小七

\*知行所などへ狩獵に出かけた際の獲物の種類と数量を記録したもの。

第一冊 寛政三歳辛亥冬十一月 在邑中殺生覚

第二冊 寛政五歳癸丑正月 在邑中殺生覚

第三冊 寛政六年寅二月 在邑中殺生覚

第四冊 寛政八年丙辰二月從十一日至廿五日 在邑中殺生覚

第五冊 寛政九歳丁巳冬十一月 在邑中殺生覚

第六冊 寛政十一年己未二月 在邑中殺生覚

第七冊 在邑中禽魚獲物簿 寛政十二年庚申冬十月十九日ヨリ十一月十五日ニ終ル

一七 宝永六丑年村々御免積帳

宝永六年一〇月

山田小平治 他七名

横 一

一七 享保元申年村々免積帳

享保元年

横 一

一七 濃州御領知村々元禄拾四己年カ以来年々免付七舛米概免

享保八年二月

横 一

本田新田直り地共御取米都合覚

一四 天保二卯年村々免附

天保二年

安井平九郎 他六名 ↓ 岡田与九郎殿 他一名

横 一

一七 嘉永三戌年御物成取立帳

嘉永三年

横 二

第一冊 嘉永三戌年御物成取立帳

秋元莊助 ↓

第二冊 嘉永三戌年御物成取立帳

嘉永三年 松井保三郎 ↓

一七六 嘉永四亥年御物成取立帳 嘉永四年 松井保三郎 ↓ 横 二

第一册 嘉永四亥年御物成取立帳 嘉永四年 松井保三郎 ↓  
第二册 嘉永四亥年御物成取立帳 嘉永四年 秋元荘助 ↓

一七五 嘉永五子年ヨリ村々三役銀取立上納帳 (嘉永五、安政二年) 御代官役所 横 一

当子年御物成取立帳(御物成取立帳) 嘉永五年 秋元荘助 横 一

一七四 嘉永六丑年御物成取立帳 嘉永六年 松井保三郎 ↓ 横 二

第一册 嘉永六丑年御物成取立帳 嘉永六年 松井保三郎 ↓  
第二册 嘉永六当丑年御物成取立帳 嘉永六年 服部吉兵衛 ↓

一七三 嘉永七寅年御物成取立帳 嘉永七年 松井保三郎 ↓ 横 二

第一册 嘉永七寅年御物成取立帳 嘉永七年 松井保三郎 ↓  
第二册 嘉永七寅年御物成取立帳 但十一月安政元年改元被仰出候 嘉永七年 服部吉兵衛 ↓

一七二 安政二卯年御物成取立帳 安政二年 松井保三郎 ↓ 横 二

第一册 安政二卯年御物成取立帳 安政二年 松井保三郎 ↓  
第二册 安政二卯年御物成取立帳 安政二年 服部吉兵衛 ↓

一七一 安政三辰年御物成取立帳 安政三年 松井保三郎 横 一

安政四巳年御物成取立帳 安政四年 服部吉兵衛 ↓  
第一册 安政四巳年御物成取立帳 安政四年 服部吉兵衛 ↓  
第二册 安政四巳年御物成取立帳 安政四年 松井保三郎 ↓

一七〇 米麦金納引継金銀諸運上共御金上ケ通 (嘉永七、安政五年) 横綴 一

① 米麦金納引継金銀諸運上共御金上ケ通 安政四年 棚橋左十郎 ↓  
② 米麦金納引継金銀諸運上共御金上ケ通 安政五年 棚橋忠右衛門 ↓

③ 山中分米麦金納引継金銀諸運上共御金上ケ通 嘉永七年 棚橋左十郎 ↓  
曾井中嶋村御物成米代金御勘定帳 安政四年二月 郷源吾

一六九 安政五午年御物成取立帳 安政五年 加藤多門 横 一

番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

一七	安政六未年御物成取立帳	安政六年	加藤多門	横	一		
一八	米麦金納引継金銀諸連上共御金上ケ通・米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳	安政六年	加藤多門	横	二		
一九	〔万延元申年小物成・御物成取立帳〕	第一冊	米麦金納引継金銀諸連上共御金上ケ通 あり。	安政六年	棚橋忠右衛門↓	横	二
		第二冊	米麦金納并小物成諸連上引継銀并御金上ケ帳	安政六年	松井喜十郎↓		
		第一冊	万延元申年小物成取立帳	万延元年	加藤多門↓		
		第二冊	万延元申年御物成取立帳	万延元年	加藤多門↓		
二〇	〔米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳〕	①	米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳	万延元年六月	松井喜十郎↓	横綴	一
		②	米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳	文久元年六月	松井喜十郎↓		
			文久元酉年御物成取立帳	文久元年	松井喜十郎		
			文久元酉年御物成取立帳	文久元年	加藤多門		
二一	〔慶応元丑年御物成取立帳〕	第一冊	文久三亥年御物成取立帳	文久三年	加藤多門↓	横	一
		第二冊	文久三亥年御物成取立帳	文久三年	棚橋忠右衛門↓		
		第一冊	〔御物成取立帳〕	慶応元年			
		第二冊	〔御物成取立帳〕	慶応元年			
二二	〔慶応元丑年御物成取立帳〕	①	山中三ヶ村慶応元丑年御物成取立帳	慶応元年	棚橋忠右衛門↓	横綴	三
		②	山中三ヶ村御年貢金并小物成諸連上共取立帳	慶応元年	棚橋忠右衛門↓		
		③	山中三ヶ村夏成麦取立帳	慶応元年	棚橋忠右衛門↓		
			山中三ヶ村夏成麦取立帳	慶応元年	棚橋忠右衛門↓		

一六

〔米麦金納并小物成諸運上引繼銀共御金上ケ通〕

（慶応元ケ明治二年）

棚橋忠右衛門

横綴

一

第二冊 慶応元丑年御物成取立帳 慶応元年 棚橋忠右衛門 ↓  
第三冊 慶応元丑年御物成御取立帳 慶応元年 御代官役所 ↓

① 慶応元年丑七月米麦金納并小物成諸運上引繼銀共御金上ケ通 慶応元年七月 棚橋忠右衛門 ↓

② 慶応元丑年中分米麦金納引繼銀諸運上共御金上ケ通 慶応元年 棚橋忠右衛門 ↓

③ 慶応二寅年米麦金納并小物成諸運上引繼銀共御金上ケ通 慶応二年 棚橋忠右衛門 ↓

④ 慶応二寅年山中分米麦金納引繼銀諸運上共御金上ケ通 慶応二年 棚橋忠右衛門 ↓

⑤ 慶応三卯年米麦金納并小物成諸運上引繼銀共御金上ケ通 慶応三年 棚橋忠右衛門 ↓

⑥ 慶応三卯年山中分米麦金納引繼銀諸運上共御金上ケ通 慶応三年 棚橋忠右衛門 ↓

⑦ 慶応四年辰七月米麦金納并小物成諸運上引繼銀共御金上ケ通 慶応四年七月 棚橋忠右衛門 ↓

⑧ 明治二年巳七月米麦金納并小物成諸運上引繼銀共御金上ケ通 明治二年七月 棚橋忠右衛門 ↓

⑨ 明治二年巳七月山中分米麦金納并諸運上引繼銀共御金上ケ通 明治二年七月 棚橋忠右衛門 ↓

一七

明治元辰年御物成取立帳

明治元年

棚橋忠右衛門

横

一

一八

明治元辰年御物成勘定仕置書抜帳

明治元年

岩田八九郎扣

横

一

一九

明治二巳年御物成取立帳

明治二年

御代官役所

横

二

第一冊 明治二巳年御物成取立帳 明治二年 御代官役所 ↓

第二冊 明治二巳年御物成取立帳 明治二年 御代官役所 ↓

二〇〇

慶応二寅年御物成取立帳

慶応二年

棚橋忠右衛門 ↓

横

二

第一冊 慶応二寅年御物成取立帳 慶応二年 棚橋忠右衛門 ↓

第二冊 慶応二寅年御物成取立帳 慶応二年 御代官役所 ↓

二〇一

曾井中鳴村・辻村・小衣斐村・沢村御収納未御払代金御勘定帳

慶応二年一二月

郷只七郎

横

一

二〇二

慶応三卯年御物成取立帳

慶応三年

御代官役所

横

一

二〇三

慶応三卯年正收納之調

慶応三年

御代官役所

横

一

石河家文書目録(一)

二二

番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三〇四 米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳

(慶応二、三年)

近藤寛次郎

横綴 一

① 慶応二年寅七月米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳

近藤寛次郎 ↓

② 慶応三年卯七月米麦金納并小物成諸連上引継銀共御金上ケ帳

慶応二年七月 近藤寛次郎 ↓

三〇五 文久元酉年御物成御勘定帳下

(文久三年)戊正月

松井喜十郎

縦 一

三〇六 文久三亥年御物成御勘定帳下

(文久四年)子正月

加藤多門

縦 一

三〇七 (張免定留)

(安政六、明治二年)

縦 一

第一冊 安政六年未十一月張免定留

安政六年二月

第二冊 慶応元年丑十一月張免定留

慶応元年二月

第三冊 慶応元年丑十一月張免定留

慶応元年二月

第四冊 慶応二年寅十一月張免定留

慶応二年二月

第五冊 慶応二年寅十一月張免定留

慶応二年二月

第六冊 御免定面写(福江村他一〇ヶ村)

(文久元、明治二年)

第七冊 慶応三年卯十一月張免定留

慶応三年二月

第八冊 慶応三年卯十一月張免定留

慶応三年二月

第九冊 明治元年辰十一月張免定留

明治元年二月

第一〇冊 明治元年辰十一月張免定留

明治元年二月

第一一冊 明治二年巳十一月張免定留

明治二年二月

三〇八 (慶応元丑年御物成御勘定帳下)

(慶応二年)寅正月

棚橋忠右衛門

縦 二

第一冊 慶応元丑年御物成御勘定帳下

(慶応二年)寅正月

棚橋忠右衛門 ↓

第二冊 山中三ヶ村慶応元丑年御物成御勘定帳下

(慶応二年)寅正月

棚橋忠右衛門 ↓

三〇九 (銘々積出米御免相居候取米帳)

(慶応元、三年)

縦綴 一

① 慶応元年丑十一月銘々積出米御免相居候取米帳

慶応元年二月

② 慶応三年卯十一月銘々積出米御免相居候取米帳

慶応三年二月

三〇 〔一二三積出米御免相居候取米帳〕 (慶応元一三年) 縦綴 一

① 慶応元年十一月二三積出米御免相居候取米帳 慶応元年一月

② 慶応三年卯十一月二三積出米御免相居候取米帳 慶応三年一月

壹二三御免相積帳 慶応元年一月

三三 慶応二寅年麦検見積下調 慶応二年

三三 慶応三卯年御物成御勘定下帳〔慶応三卯年御物成御勘定帳〕 (明治元年)辰正月 近藤寛治郎

三四 〔銘々積出米御免相居候取米帳・村々へ遣差紙留〕 慶応二年一月

① 慶応二年寅十一月銘々積出米御免相居候取米帳 慶応二年一月

② 慶応二年寅十一月二三積出米御免相居候取米帳 慶応二年一月

③ 慶応二年寅十一月村々江遣差紙留 慶応二年一月

〔一二三御免相積帳〕 (慶応二一三年) 縦綴 一

① 慶応二年寅十一月二三御免相積帳 慶応二年一月

② 慶応三年卯十一月二三御免相積帳 慶応三年一月

二六 〔門戸村・瓦林村御物成御勘定帳〕 (明治元年) 縦綴 一

① 門戸村・瓦林村御物成御勘定帳 明治元年二月 中島孝之丞 ↓

② 乍恐御請書奉差上候〔瀬堀人足御扶持米等被下置候二付〕 明治元年二月二五日 撰州武庫郡瓦林村庄屋 九郎兵衛 ↓ 中島孝之丞様

③ 覚〔借銀元利被下置候二付請取状〕 (年未詳)

④ (納米代請取覚) 一〇月七日 坪庄や ↓ 上

⑤ 覚〔御手当米・用達料被下置候二付〕 辰二月 八木屋喜助 ↓ 中島孝之丞様

⑥ 覚〔当辰分御廻金其外院納二付〕 戊辰二月一九日 大雄院納所 ↓ 中島孝之丞様

⑦ 覚〔金子請取二付〕 辰一〇月六日 伊子屋喜八郎 ↓ 庄屋 儀右衛門様

⑧ 覚〔玄米院納二付〕 明治元年一〇月 大雄院納所 ↓ 中島孝之丞様

三七 明治二巳年御物成御勘定下帳〔明治二巳年御物成御勘定帳〕 (明治三年)午正月 岩田熊次郎 縦綴 一



番号表題	年月日	差出(作成)宛所	形態・数量
三八 当午年租税帳	明治三年一月	御名	縦 一
三九 七舛米ニ添書付之儀留書	(享保一九〜二〇年)	御家老方	縦 一
三〇 享和二戌年御物成御勘定帳	(享和三三年)亥正月	山中三ヶ村 山口大吉 他一名 取次	縦 一
三一 定免作村々新田直地見分地所根帳	文政一二年	御代官役所	縦 一
三三 村々江遣又差紙留	文政一三年		縦 一
三三 〔天保七申年麦検見積下調〕	(天保七〜八年)		縦綴 一
① 天保七申年麦検見積下調	天保七年		縦 一
② 天保八酉年麦検見積下調	天保八年		縦 一
三四 天保十二年丑御物成御勘定帳	天保一二年	野口源五左衛門	縦 一
三五 〔天保十四卯年麦見分の上積下夕帳〕	(天保二〜一四年)		縦綴 一
① 天保十四卯年麦見分之上積下夕帳	天保一四年		縦 一
② 天保二卯年麦検見積下帳	天保二年		縦 一
三六 〔弘化二巳年麦検見積下夕帳〕	(弘化二〜四年)		縦綴 一
① 弘化二巳年麦検見積下夕帳	弘化二年		縦 一
② 弘化四未年麦検見分積下夕帳	弘化四年		縦 一
三七 弘化三午年麦検見積下夕帳	弘化三年		縦 一
三六 〔嘉永元年より四年迄麦検見積下帳〕	(嘉永元〜四年)		縦綴 一
① 嘉永元申年麦検見積下帳	嘉永元年		縦 一
② 嘉永三戌年麦見分積下帳	嘉永三年		縦 一
③ 嘉永四亥年麦見分積下帳	嘉永四年		縦 一

\* 標題に「但定免手限明キ村々以来毎春見分之上年数相調極」とあり。はさみ込み文書あり。

三九 (嘉永二年御物成御勘定目録) 嘉永二年 縦綴 一

① 嘉永二酉年御物成御勘定目録 嘉永二年

② 嘉永二酉年勘定目録写帳 明治四年四月 元石河太八郎領知濃州大野郡下座倉村庄屋 増右衛門 他一名 ↓ 笠松御県御役所

③ 嘉永二酉年厘附書上帳 明治四年四月 元石河太八郎領知濃州大野郡下座倉村庄屋 増右衛門 他一名 ↓ 笠松御県御役所

④ 嘉永二酉年厘附書上帳 明治四年四月 石河太八郎元領知濃州池田郡片山村庄屋 儀助 他一名 ↓ 笠松御県御役所

⑤ 嘉永二酉年勘定目録写帳 明治四年四月 石河太八郎元領知濃州大野郡片山村庄屋 儀助 他一名 ↓ 笠松御県御役所

三〇 嘉永二酉年村々取米厘附帳 嘉永二年四月 縦 一

三一 (嘉永五・六年麦検見積り下夕帳) (嘉永五・六年) 縦綴 一

① 嘉永五子年麦検見積り下夕帳 嘉永五年

② 嘉永六丑年麦検見積り下夕帳 嘉永六年

三二 嘉永六丑年御物成御勘定帳 (嘉永七年) 寅正月 松井保三郎 縦 一

三三 安政三辰年御物成御勘定帳下 (安政四年) 巳正月 服部吉兵衛 縦 一

三四 安政四巳年御物成御勘定帳 (安政五年) 午正月 松井保三郎 縦 一

三五 安政四巳年麦検見積下調 安政四年 縦 一

三六 安政五午年御物成御勘定帳 (安政六年) 未正月 松井保三郎 縦 一

三七 (山中三ヶ村万延元申年御物成御勘定帳等綴込) (万延元・二年) 縦綴 一

\*左の細目に示した史料のほか、書付二点がはさまみ込まれている。

① 山中三ヶ村万延元申年御物成御勘定帳 (万延二年) 酉正月 棚橋忠右衛門 ↓

② 米麦金納引継金銀諸運上共御金上ケ通 万延元年 棚橋忠右衛門 ↓

三六 (山中三ヶ村文久元酉年御物成御勘定帳等綴込) (文久元・二年) 縦綴 一

① 山中三ヶ村文久元酉年御物成御勘定帳 (文久二年) 戌正月

② (御差継米請取状綴) (文久元年二月) ※三五点の請取状を綴じ込んだもの。

③ 米麦金納引継金銀諸運上共御金上ケ通 文久元年

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三三	[文久二戊年御物成御勘定帳] 第一冊 文久二戊年御物成御勘定帳下 第二冊 文久二戊年御物成御勘定帳	(文久三年)亥正月 (文久三年)亥正月 加藤多門 ↓	加藤多門 ↓	※はさみ込み文書あり。	縦	二
三四	文久二戊年御物成御勘定帳 第一冊 山中三ヶ村文久二戊年御物成御勘定帳 第二冊 文久二戊年御物成御勘定帳	(文久三年)亥正月 (文久三年)カ)正月 亥(文久三年)カ)正月	棚橋忠右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門 ↓	※はさみ込み文書あり。	縦	二
三四	[御物成御勘定帳] 第一冊 (御物成御勘定帳)	文久三年	棚橋忠右衛門 ↓		縦	二
三四	① 山中三ヶ村文久三亥年御物成御勘定帳 ② (差継米金・庄屋給米等請取状綴) ③ 山中三ヶ村米麦金納引継金銀諸運上共御金上ヶ通	(元治元年)子正月 (文久三年) (元治元年)子正月	棚橋忠右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門 ↓		縦	一
三四	[山中三ヶ村元治元子年御物成御勘定帳] ① 山中三ヶ村元治元子年御物成御勘定帳 ② (差継米金請取状綴) ③ 山中分米麦金納引継金銀諸運上共御金上ヶ通	(元治二年)丑正月 (元治元年) 元治元年	棚橋忠右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門 ↓		縦	一
三四	元治元子年御物成御勘定帳	(元治二年)丑正月	近藤寛治郎		縦	一
三四	元治元子年御物成御勘定下帳	(元治二年)丑正月	近藤寛治郎		縦	一
三四	慶応元丑年御物成御勘定帳	(慶応二年)寅正月	棚橋忠右衛門		縦	一
三四	慶応元丑年御物成御勘定帳	(慶応元)一年)			縦	一
三四	① 慶応元丑年御物成御勘定帳 ② (差継米金請取状綴)	(慶応二年)寅正月 (慶応元年)	棚橋忠右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門 ↓		縦	一

二七	嘉永三戊辰明治二己迄二拾ケ年御物成勘定目録写(二十ケ年御物成御勘定目録写)	明治三年二月	中村屋	縦	一
二四八	御免相積帳	(年未詳)	御領知奉行・御代官	横	一
二四九	(去年年村々麦代米之調・村々江御貸米返納残穀之調・御領知村々置米総合調帳・村々江御貸米返納残穀之調)	(年未詳)		横綴	一
	① 去年年村々麦代米之調 (年未詳)				
	② 村々江御貸米返納残穀之調 下調 (年未詳)				
	③ 御領知村々置米総合調帳 (年未詳)				
	④ 村々江御貸米返納残穀之調 (年未詳)				
二五〇	村々正収納之調	(年未詳)		横	一
二五一	御出入帳	嘉永三年	御用人方	横	一
	* 家臣の石高・役職・住居などを記録したもの。				
二五二	御側御用人江御領知之内御林并御川御扣山川等御用向勿論心懸御為宜様相勤候様作左衛門殿被仰聞候	一〇月二五日		縦	一
	* 嘉永三下安政六年の記事が見られる。				
二五三	御領知濃州村々江寺社明細記	(江戸)		縦	一
二五四	御役替并御加増御褒美等之留	安政七年正月ヨリ	御家老方	縦	一
二五五	御家中分限帳	文政一二年	御目付	横半	一
二五七	駒塚附同心并家族人数調帳	明治二年一〇月	御目付	縦	一
	御切米御定帳	(年未詳)		縦	一
二五八	元家来扶持禄二代以下士分之輩勤年数調書	(明治四年)辛未七月	石河太八郎	縦	一
二五九	(石河家家士記録)	慶応三年		縦	三
二六〇	石河家家士名寄	(年未詳)		縦	三

番号表題	年月日	差出(作成)↓宛所	形態・数量
三二 起口御固諸事留下	(元治元年)	三尾惣太夫	縦 一
三三 御軍用留	慶応四年二月	御用人方	縦 一
	*二月二三日より九月八日まで記載。		
三三 海手御備御固等大法	(安政元年)		縦 一
	*末尾に「志水小八郎初在々御境目口固」が併記されている。		
三四 (鉋術方)	(明治三年)		縦綴 一
	① 鉋術方(禄高・姓名書上) 明治三年二月調 石河太八郎↓		
	② 六月十三日到来彦岐守殿御渡(供連減少ニ付達書) (年未詳)		
	③ 国民軍下調 (明治)		
三五 (西洋諸州別段風説書・露西亞船応接口書并甲比丹雜話風聞)	(江戸)		縦綴 一
	① 西洋諸州別段風説書・露西亞船応接口書并甲比丹雜話風聞 (江戸)		
	② 蝦夷地へ来候外国船之義ニ付承合候覚書 (江戸)		
	③ 西洋伝弁駁 (江戸)		
三六 英吉利国條約并税則	(安政五年)	水野筑後守 他五名	縦 一
	*末尾に「露西亞国條約并税則」が併記されている。		
三七 魯西亞書牘和解	嘉永六年一〇月一五日		縦 一
	*日露和親条約の和解。		
三六 (亜墨利加條約并税則)	(嘉永七年)		縦綴 一
	① 亜墨利加条約(日米和親条約) (嘉永七年)		
	② 亜墨利加国条約并税則(日米修好通商条約) (安政五年)		
三六 濃州市野瀬村・乙原村・東横山村・西横山村・上岡嶋・下岡嶋立合御林山間数并木立改帳	正徳三年三月	坂野助左衛門	横 一

二七〇

山中三ヶ村用録

文久二年正月より

棚橋忠右衛門

横

一

\* 記載は明治期に至る。

二七一

〔道中備立〕

寛文六年七月

横

一

二七二

竹三郎様江戸御下向ニ付従方々様御餞別并御返礼之品覚

〔享保九〜一〇年〕

縦

一

\* 享保九年二月一五日より同一〇年九月九日まで記載。

二七三

御上下御道中金おくり帳

明和八年二月

浅川久之丞

横

一

二七四

書拔〔御前様不例・逝去・葬送ニ付書拔〕

〔寛政二一〜二二年〕

縦

一

二七五―一

〔山王御宮参之節御行列書・御役場御行列・文政十二年六月紀州御往来御休泊附〕

〔江戸〕

横綴

一

① 山王御宮参之節御行列書 (江戸)

② 紀州様御行列付 (江戸)

③ 御役場御行列 (江戸)

④ 紀州御往来御休泊附 文政二二年六月

二七五―二

〔纏・挑灯・合印絵図〕

〔年未詳〕

鋪

一

二七五―三

天保八年西九月認候御林山絵図面

天保八年九月

鋪

一

\* 彩色の絵図。法量は八六センチ×四四センチ。

二七六

〔前大納言様御供奉御登ニ付御発駕御当日ヨリ御道中日記・寛政九年六月御登御旅行記・文政十二年九月大納言様御宮参之次第〕

〔寛政九〜文政二二年〕

縦綴

一

① 前大納言様御供奉御登ニ付御発駕御当日ヨリ御道中日記 (江戸) 御用人 ↓

② 御登御旅行記 寛政九年六月 御用人方 ↓

③ 大納言様御宮参之次第 文政二二年九月

二七七

御道中日記

文久三年五月

御用人方

縦

一

\* 五月より七月まで記載。

石河家文書目録(一)

番号表題	年月日	差出(作成)↓宛所	形態・数量
二七六 御結納・御道具御行列帳	(年未詳)		横半 一
二七九 文政十一子年ヨリ寺社江御寄附品并宿々本陣御願被下金 百姓町人共御出入濟御纏御排灯願濟等頭書 *はさみ込み文書あり。	嘉永二年八月	御用人方	横 一
二八〇 尾州・濃州御領分寺社領	(元和五〜正徳四年)		横半 一
二八二 (天台宗他本末寺号其外明細帳(雛形))	(年未詳)		縦 一
二八三 濃州安八郡南條村男女増減帳	天保一二年三月		縦 一
二八三 濃州大野郡下岡嶋村人数増減帳	天保一二年三月		縦 一
二八四 (人別御改帳)(本巢郡曾井中嶋村上・下組)	天保五年一二月		縦 二
第一冊 人別御改帳 本巢郡曾井中嶋村上組	天保五年一二月		
第二冊 人別御改帳 本巢郡曾井中嶋村下組	天保五年一二月		
二八五 (人別御改帳)	(天保一五〜弘化二年)		縦 二
第一冊 人別御改帳(大明神村)	天保一五年一二月		
第二冊 人別御改帳写(中辺分)	弘化二年八月		
二八六 人別取調帳 安八郡南条村	弘化二年正月		縦 一
二八七 濃州池田郡岡村人数増減帳	安政六年三月		縦 一
二八八 濃州多芸郡飯田村男女増減御改帳	安政六年三月		縦 一
二八九 濃州大野郡下座倉村増減御改帳	安政六年三月		縦 一
二九〇 濃州安八郡南條邑男女増減帳	安政六年三月		縦 一
二九一 濃州安八郡北今ヶ淵村男女人数増減帳	万延元年三月		縦 一
二九二 出生死亡届書之留	(明治五〜一二年)	戸長・取締扣	縦 一

\*明治五年正月より同一二年八月一九日まで記載。

二九三 〔戸籍帳調増減之留〕 (明治) 縦綴 一

① 戸籍帳調増減之留 (明治)

② (戸数人員書上) (明治)

③ 願書 (明治)

④ 出生死亡送入籍等之留 (明治)

二九四 戸籍并出寄留之輩増減調 戸長・取締扣 縦 一

二九五 官省府県奉職・入籍送籍・出生死亡・戸主替等届書留下 明治八年

二九六 官省府県奉職・送入籍・出生死亡・戸主替等届 明治九年

二九七 官省府県奉職・送入籍・出生死亡・戸主替等届 明治一〇年

二九八 送籍状下 (明治六、一、二二年)

二九九 安八郡勝村宗門御改帳 天保九年三月 縦 一

三〇〇 〔撰州武庫郡瓦林村宗門御改帳〕 嘉永六年三月 縦綴 一

第一冊 撰州武庫郡瓦林村宗門御改帳 嘉永六年三月

第二冊 〔撰州武庫郡瓦林村宗門御改帳・男女増減帳〕 嘉永六年三月

① 撰州武庫郡瓦林村宗門御改帳 嘉永六年三月

② 男女増減帳(撰州武庫郡瓦林村) 嘉永六年三月

三〇一 撰州武庫郡門戸村宗門御改帳 嘉永六年三月 縦 一

\* 同内容のものが二冊残存している。

三〇二 安八郡勝村宗門御改帳 安政五年三月 縦 一

三〇三 〔濃州大野郡郡家村宗門御改帳・人数増減御改帳〕 安政六年三月 縦綴 一

① 濃州大野郡郡家村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州大野郡郡家村人数増減御改帳 安政六年三月

三〇四 濃州厚見郡古津村宗門御改帳 安政六年三月 縦 一



番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三五 濃州多芸郡飯田村宗門御改帳

安政六年三月

縦一

三〇六 [濃州安八郡付寄村宗門御改帳]

安政六年三月

縦一

- ① 濃州安八郡付寄村宗門御改帳 安政六年三月
- ② 濃州安八郡付寄村増減御改帳 安政六年三月

三〇七 [宗門御改帳并宗門増減帳](濃州方県郡志段味村)

安政六年三月

縦一

第一冊 [宗門御改帳并増減御改帳] 安政六年三月

- ① 濃州方県郡志段味村宗門御改帳 安政六年三月
- ② 宗門御改帳并宗門増減帳(濃州方県郡志段味村) 安政六年三月

第二冊 [宗門御改帳并宗門増減帳] 安政六年三月

- ① 濃州方県郡志段味村宗門御改帳 安政六年三月
- ② 濃州方県郡志段味村宗門増減帳 安政六年三月

三〇八 [濃州方県郡三ツ又宗門御改帳・人数増減帳]

安政六年三月

縦一

- ① 濃州方県郡三ツ又宗門御改帳 安政六年三月
- ② 濃州方県郡三ツ又人数増減帳 安政六年三月

三〇九 [宗門御改帳并人数増減御改帳](濃州方県郡折立村)

安政六年三月

縦一

- ① 濃州方県郡折立村宗門御改帳 安政六年三月
- ② 濃州方県郡折立村人数増減御改帳 安政六年三月

三二〇 [濃州大野郡上岡嶋村宗門御改帳・人数増減帳]

安政六年三月

縦一

- ① 濃州大野郡上岡嶋村宗門御改帳 安政六年三月
- ② 濃州大野郡上岡嶋村人数増減帳 安政六年三月

三二一 [宗門御改帳并増減帳](濃州大野郡下岡嶋村)

安政六年三月

縦一

- ① 濃州大野郡下岡嶋村宗門御改帳 安政六年三月
- ② 濃州大野郡下岡嶋村宗門御改帳増減帳 安政六年三月

三三 [濃州大野郡小衣斐村宗門御改帳・人数増減帳] 安政六年三月

① 濃州大野郡小衣斐村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州大野郡小衣斐村人数増減帳 安政六年三月

三三 [濃州大野郡辻村宗門御改帳・宗門御改人数増減帳] 安政六年未三月

① 濃州大野郡辻村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州大野郡辻村宗門御改人数増減帳 安政六年三月

三四 濃州大野郡下座倉村宗門御改帳〔宗門御改帳〕 安政六年三月

庄屋 若園増右衛門 他三名 ↓ 松井喜十郎 殿 縦綴

三五 濃州安八郡南條邑男女宗門御改帳〔宗門御改帳〕 安政六年三月

庄屋 西松信十郎 他一名 ↓ 加藤多門殿 縦綴

三六 [宗門御改帳并番人宗門御改帳]〔濃州厚見郡萱場村〕 安政六年三月

① 濃州厚見郡萱場村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州厚見郡萱場村番人宗門御改帳 安政六年三月

三七 [宗門御改帳并人数増減御改帳]〔濃州山県郡中屋村〕 安政六年三月

① 濃州山県郡中屋村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州山県郡中屋村人数増減御改帳 安政六年三月

三八 [宗門並宗門増減御改帳]〔濃州山県郡上野村〕 安政六年三月

① 濃州山県郡上野村宗門人別御改帳 安政六年三月

② 濃州山県郡上野村宗門増減御改帳 安政六年三月

三九 [宗門御改帳並人数増減帳]〔濃州池田郡東野村〕 安政六年三月

① 濃州池田郡東野村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州池田郡東野村人数増減帳 安政六年三月

三〇 濃州池田郡岡村宗門御改帳〔宗門御改帳〕 安政六年三月

庄屋 細野八兵衛 他四名 ↓ 松井喜十郎殿 縦綴

三一 [宗門御改帳並増減御改帳]〔濃州池田郡大川村・溝尻村〕 安政六年三月

① 濃州池田郡大川村・溝尻村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州池田郡大川村・溝尻村宗門御改増減帳 安政六年三月

縦綴

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三三 (宗門御改帳并人数増減帳・他所奉公人帳)(濃州池田郡 安政六年三月

片山村)

\*表題には「他所奉公人帳」とあるが、実際は綴じ込まれていない。

① 濃州池田郡片山村宗門御改帳 安政六年三月

② 濃州池田郡片山村人数増減帳 安政六年三月

三三 (宗門御改帳并増減帳・他所奉公人帳)(濃州本巢郡曾井中 安政六年三月

鳴村)

第一冊 (宗門御改帳并増減帳・他所奉行人帳) 安政六年三月

① 宗門御改帳 曾井村上組 安政六年三月

② 他所奉公人帳 安政六年三月

③ 宗門御改増減帳 安政六年三月

第二冊 (宗門御改帳并増減帳・奉行人帳) 安政六年三月

① 宗門御改帳 曾井村下組 安政六年三月

② 奉公人帳 安政六年三月

③ 宗門御改増減帳 安政六年三月

第三冊 (宗門御改帳并人数増減帳・他所奉行人帳) 安政六年三月

① 曾井中嶋村之内中嶋村宗門御改帳 安政六年三月

② 他所奉公人帳 安政六年三月

③ 宗門御改人数増減帳 安政六年三月

三四 濃州安八郡大明神村宗門御改帳 安政七年三月

大明神村庄屋 棚橋信十郎 他一名 ↓ 加藤多門殿 縦

三五 濃州安八郡南條邑男女宗門御改帳 安政七年三月

三六 濃州中嶋郡駒塚村宗門増減帳 文久元年三月

庄屋 西松信十郎 他一名 ↓ 加藤多門殿 縦  
庄屋 森宅兵衛 他一名 ↓ 加藤多門殿 縦

三七 宗門御改帳(濃州石津郡沼新田) 安政七年三月

沼新田庄屋 安立勘兵衛 他一名 ↓ 松井喜十郎殿 縦

縦綴 三

三六 濃州石津郡市之瀬村宗門御改増減帳 安政七年三月

庄屋 三宅嘉右衛門 他一名 ↓ 加藤多門殿 縦

三九 (濃州山県郡中屋村宗門御改帳) 万延二年三月

縦綴

- ① 濃州山県郡中屋村宗門御改帳 万延二年三月
- ② 濃州山県郡中屋村人数増減御改帳 万延二年三月

三〇 (濃州池田郡片山村宗門御改帳・人数増減帳) 慶応四年三月

縦綴

- ① 濃州池田郡片山村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州池田郡片山村人数増減帳 慶応四年三月

三一 (濃州池田郡西横山村宗門御改帳) 慶応四年三月

縦綴

- ① 濃州池田郡西横山村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 池田郡西横山村男女人数増減御改帳 慶応四年三月

三二 (濃州池田郡東野村宗門御改帳・人数増減帳) 慶応四年三月

縦綴

- ① 濃州池田郡東野村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州池田郡東野村人数増減帳 慶応四年三月

三三 (濃州池田郡岡村宗門御改帳・人数増減帳) 慶応四年三月

縦綴

- ① 濃州池田郡岡村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州池田郡岡村人数増減帳 慶応四年三月

三四 (濃州池田郡大門村・溝尻村宗門御改帳・宗門御改増減帳) 慶応四年三月

縦綴

- ① 濃州池田郡大門村・溝尻村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州池田郡大門村・溝尻村宗門御改増減帳 慶応四年三月

三五 (濃州多芸郡飯田村宗門御改帳・男女奉公人改帳) 慶応四年三月

縦綴

- ① 濃州多芸郡飯田村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州多芸郡飯田村男女奉行人御改帳 慶応四年三月

三六 濃州厚見郡古津村宗門御改帳 慶応四年三月

縦

古津村庄屋 辰三郎 他一名 ↓ 近藤寛治郎 殿

番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三七 [濃州厚見郡萱場村宗門御改帳]

慶応四年三月

縦綴

① 濃州厚見郡萱場村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州厚見郡萱場村番人宗門御改帳 慶応四年三月

三八 [濃州安八郡付奇村宗門御改帳]

慶応四年三月

縦綴

① 濃州安八郡付奇村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州安八郡付奇村宗門并増減御改帳 慶応四年三月

三九 [安八郡勝村宗門御改帳]

慶応四年三月

縦綴

① 安八郡勝村宗門御改帳 慶応四年三月

② 人数増減之覚 慶応四年三月

四〇 [濃州安八郡南條村男女宗門帳・男女増減帳]

慶応四年三月

縦綴

① 濃州安八郡南條村男女宗門帳 慶応四年三月

② 濃州安八郡南條村男女増減帳 慶応四年三月

四一 [濃州安八郡北今ヶ淵村宗門御改帳・他所罷出奉公人帳]

慶応四年三月

縦綴

① 濃州安八郡北今ヶ淵村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州安八郡北今ヶ淵村男女人数増減帳 慶応四年三月

③ 濃州安八郡北今ヶ淵村田所罷出奉公人帳 慶応四年三月

④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 安八郡北今ヶ淵村 安藤周哲 ↓ 棚橋忠右衛門殿

⑤ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州北今ヶ淵村 東浄土真宗浄満寺 ↓ 近藤寛次郎殿

⑥ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 安八郡北今ヶ淵村 東浄土真宗浄満寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑦ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 北今ヶ淵村 野村栄助 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑧ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 安八郡大垣伝馬町 法花宗実相寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑨ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 北今ヶ淵村 安藤登馬之助 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑩ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州安八郡墨股宿 明台寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿

〔濃州安八郡大野村宗門御改帳・男女増減帳〕

慶応四年三月

縦綴

〔濃州安八郡大明神村宗門御改帳・男女増減帳〕

慶応四年三月

縦綴

第一冊〔濃州安八郡大明神村宗門御改帳・男女増減帳〕

- ① 濃州安八郡大明神村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州安八郡大野村男女増減帳 慶応四年三月
- ③ 濃州安八郡大野村男女奉公人帳 慶応四年三月
- ④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 青木仲郎 ↓ 近藤寛治郎殿
- ⑤ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州安八郡大野村 東浄土真宗法厳寺 ↓ 近藤寛治郎殿
- ⑥ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州安八郡大野村 東浄土真宗法厳寺 ↓ 近藤寛治郎殿
- ⑦ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 辻寛之助 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑧ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 辻寛之助 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑨ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州安八郡大野村 浄土真宗法厳寺 ↓

〔濃州安八郡成田村男女宗門御改帳・男女増減帳・他所に罷在奉公人帳〕

縦綴

第二冊〔濃州安八郡大明神村宗門御改帳・男女増減帳〕

- ① 濃州安八郡大明神村宗門御改帳 東組 慶応四年三月
- ② 濃州安八郡大明神村男女増減帳 北組 慶応四年三月
- ③ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 大明神村 棚橋新右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 大明神村 岩田重五郎 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑤ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 安八郡養樂寺 ↓ 近藤寛治郎殿
- ⑥ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 安八郡墨俣村満福寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ① 濃州安八郡成田村男女宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州安八郡成田村男女増減帳 慶応四年三月
- ③ 濃州安八郡成田村他所に罷在奉公人帳 慶応四年三月

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三五

〔濃州中嶋郡大浦村宗門御改帳・辰年増減帳〕

慶応四年三月

縦綴

三四

〔宗門御改帳・宗門御改増減帳〕(濃州本巢郡曾井中島村) (慶応四年)

縦綴

第一冊〔宗門御改帳・宗門御改増減帳〕 慶応四年

- ① 宗門御改帳 濃州本巢郡曾井村上組 慶応四年三月
- ② 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月二八日 濃州本巢郡曾井村 禪宗梅英寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ③ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二八日 青木八左衛門 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ④ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月二八日 濃州本巢郡曾井村 禪宗梅英寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑤ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州本巢郡曾井村 本願寺宗正光寺 ↓ 安井弥九郎殿 他一名
- ⑥ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二八日 青木勝治郎 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑦ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州本巢郡曾井村 禪宗梅英寺 ↓ 近藤寛治郎殿

⑧ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 青木右藤太 ↓ 近藤寛治郎殿

⑨ 他所奉公人帳 濃州本巢郡曾井村上組 慶応四年三月

⑩ 宗門御改増減帳 濃州本巢郡曾井村上組 慶応四年三月

第二冊(濃州本巢郡曾井中島村之内中島村宗門御改帳・他職奉公人帳) 慶応四年

① 濃州本巢郡曾井中島村之内中島村宗門御改帳 慶応四年三月

② 宗門御改増減帳 濃州本巢郡曾井中島村之内中島 慶応四年三月

③ 他所奉公人帳 濃州本巢郡曾井中島村之内中島村 慶応四年三月

④ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑤ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 高橋幾右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑥ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑦ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 高橋瀧治 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑧ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑨ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 高橋駒吉 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑩ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 高橋兵左衛門 ↓ 近藤寛治郎殿

⑪ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 近藤寛次郎殿

⑫ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州本巢郡曾井中島村 浄土真宗本願寺御門跡一家地正尊寺 ↓ 安井弥九郎殿 他一名

第三冊(宗門御改帳・奉公人帳) 慶応四年

① 宗門御改帳 濃州本巢郡曾井村下組 慶応四年三月

② 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 青木角左衛門 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

③ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 青木亀三郎 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑤ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑥ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 青木喜市 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑦ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

⑧ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州本巢郡曾井村 梅英寺 ↓ 安井弥九郎殿 他一名

⑨ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 青木李助 ↓ 近藤寛治郎殿



番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三六

〔濃州山県郡上野村宗門御改帳〕

(慶応四年)

縦綴

一

三九

〔濃州山県郡中屋村宗門御改帳・人数増減御改帳〕

慶応四年三月

縦綴

一

四〇

濃州大野郡上岡嶋村宗門御改帳

慶応四年三月

庄屋 細野勝助 他一名 ↓ 棚橋忠右衛門殿

縦

一

四一

〔濃州大野郡下岡嶋村宗門御改帳〕

慶応四年三月

縦綴

一

- ① 濃州大野郡下岡嶋村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 中村儀兵衛 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

- ⑩ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州本巢郡曾井中島村 本願寺宗正尊寺 ↓ 近藤寛治郎殿
- ⑪ 宗門御改増減帳 濃州本巢郡曾井村下組 慶応四年三月
- ⑫ 奉公人帳 濃州本巢郡曾井村下組 慶応四年三月

- ① 濃州山県郡上野村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州山県郡上野村宗門増減御改帳 慶応四年三月
- ③ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州山県郡宮ノ上村 日蓮宗妙久寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月 辻与三郎 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑤ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州山県郡宮ノ上村 日蓮宗妙久寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑥ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 辻定五郎 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑦ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 伊藤勘之助 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑧ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州山県郡世保村 浄土宗清閑寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑨ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州山県郡宮ノ上村 妙久寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑩ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州山県郡上野村 真言宗蓮齋寺 ↓ 安井弥九郎殿 他一名
- ⑪ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 辻丈助 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑫ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年二月 濃州山県郡宮ノ上村 日蓮宗妙久寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑬ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 辻五左衛門 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名

〔濃州大野郡下座倉村宗門御改帳・他所罷出候奉公人書 慶応四年三月  
上帳〕

- ③ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 大野郡伊尾 本願寺宗大寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ④ 濃州大野郡下岡嶋村宗門御改増減帳 慶応四年三月
- ① 濃州大野郡下座倉村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州安八郡落合村 東本願寺宗最勝山法泉寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ③ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 田代瀨平 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 田代万次郎 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑤ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州安八郡落合村 浄土真宗最勝山法泉寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑥ 濃州大野郡下座倉村他所江罷出候奉公人書上帳 慶応四年三月
- ⑦ 濃州大野郡下座倉村増減御改帳 慶応四年三月

〔濃州大野郡乙原村宗門御改帳〕

- ① 濃州大野郡乙原村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡乙原村 浄土真宗光明山専称寺 ↓ 安井弥九郎殿 他一名
- ③ 濃州大野郡乙原村増減御改帳 慶応四年三月
- 〔濃州大野郡辻村宗門御改帳・宗門御改人数増減帳〕 慶応四年三月
- ① 濃州大野郡辻村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡辻村 浄土真宗陽勝寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ③ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡辻村 日蓮宗本伝寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 上田勘右衛門 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑤ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡辻村 日蓮宗本伝寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑥ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 上田又藏 ↓ 棚橋忠右衛門殿 他一名
- ⑦ 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡辻村 日蓮宗本伝寺 ↓ 棚橋忠右衛門殿
- ⑧ 濃州大野郡辻村宗門御改人数増減帳 慶応四年三月

縦綴

〔濃州大野郡郡家村宗門御改帳〕

- ① 濃州大野郡郡家村宗門御改帳 慶応四年三月
- ② 濃州大野郡郡家村人数増減御改帳 慶応四年三月

縦綴

番 号 表 題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三五五 [濃州大野郡小衣斐村宗門御改帳・宗門御改人数増減帳] 慶応四年三月

縦綴 一

① 濃州大野郡小衣斐村宗門御改帳 慶応四年三月

② 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 長沼友吉↓棚橋忠右衛門殿 他一名

③ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡大光寺村 禪宗大興寺↓棚橋忠右衛門殿

④ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 長沼鉄藏↓棚橋忠右衛門殿

⑤ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州大野郡大光寺村 禪宗大興寺↓棚橋忠右衛門殿

⑥ 濃州大野郡小衣斐村宗門御改人数増減帳 慶応四年三月

三五六 [濃州大野郡沢村宗門御改帳・宗門御改人数増減帳] 慶応四年三月

縦綴 一

① 濃州大野郡沢村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州大野郡沢村宗門御改人数増減帳 慶応四年三月

三五七 [濃州大野郡東横山村宗門御改帳・人数増減御改帳] 慶応四年三月

縦綴 一

① 濃州大野郡東横山村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州大野郡東横山村人数増減御改帳 慶応四年三月

三五八 [濃州方県郡三ツ又分宗門御改帳] 慶応四年三月

縦綴 一

① 濃州方県郡三ツ又分宗門御改帳 慶応四年三月

② 差出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州方県郡折立村 浄土宗超勝寺↓棚橋忠右衛門殿

③ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 尾州海東郡中一色村 円城寺末方県郡三ツ又分 浄土律宗地藏堂↓棚橋忠右衛門殿

④ 指出申一札之事(宗門御改二付) 慶応四年三月 濃州方県郡折立村 浄土宗超勝寺↓棚橋忠右衛門殿

⑤ 一札(宗門御改二付) 慶応四年三月 三ツ又分 神山茂左衛門↓棚橋忠右衛門殿

⑥ 一札(宗門御改二付) 慶応四年二月二十八日 神山長四郎↓棚橋忠右衛門殿

⑦ 濃州方県郡三ツ又人数増減帳 慶応四年三月

三五九 [濃州方県郡志段味村宗門御改帳・宗門御改増減帳] 慶応四年三月

縦綴 一

第一冊 [濃州方県郡志段味村宗門御改帳・宗門御改増減帳] 慶応四年三月

① 濃州方県郡志段味村宗門御改帳 慶応四年三月

② 宗門御改増減帳 慶応四年三月

第二冊〔濃州方県郡志段味村宗門御改帳・宗門増減御改帳〕 慶応四年三月

① 濃州方県郡志段味村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州方県郡志段味村宗門増減御改帳 慶応四年三月

③ 一札(宗門御改ニ付) 慶応四年三月 村瀬林八↓棚橋忠右衛門殿 他一名

④ 差出申一札之事(宗門御改ニ付) 慶応四年三月 濃州方県郡真福寺村 浄土真宗専応寺↓棚橋忠右衛門殿 他一名

三六〇 〔濃州方県郡鷺山村宗門御改帳〕 慶応四年三月 縦綴 一

① 濃州方県郡鷺山村宗門御改帳 慶応四年三月

② 濃州方県郡鷺山村男女増減別帳 慶応四年三月

③ 差出申一札之事(切支丹宗門御制札之儀ニ付) 慶応四年三月 濃州方県郡鷺山村 浄土真宗法光寺↓棚橋忠右衛門殿

三六一 撰州武庫郡門戸村宗門御改帳 慶応四年三月 縦綴 一

三六二 〔撰州武庫郡瓦林村宗門御改帳〕 慶応四年三月 縦綴 一

① 撰州武庫郡瓦林村宗門御改帳 慶応四年三月

② 撰州武庫郡瓦林村男女増減帳 慶応四年三月

三六三 〔濃州方県郡折立村宗門御改帳・人数増減御改帳〕 慶応四年三月 縦綴 一

第一冊 濃州方県郡折立村宗門御改帳 慶応四年三月

第二冊 濃州方県郡折立村人数増減御改帳 慶応四年三月

三六四 〔撰津国武庫郡瓦林村宗門御改帳〕 明治二年三月 縦綴 一

① 撰津国武庫郡瓦林村宗門御改帳 明治二年三月

② 撰州武庫郡瓦林村男女増人減人帳 明治二年三月

三六五 〔濃州方県郡三ツ又村宗門御改帳〕 明治三年三月 縦綴 一

① 濃州方県郡三ツ又村宗門御改帳 明治三年三月

② 濃州方県郡三ツ又村人数増減帳 明治三年三月

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三六六 〔濃州大野郡沢村宗門御改帳・御改人数増減帳〕 明治三年三月 縦綴 一

① 濃州大野郡沢村宗門御改帳 明治三年三月

② 濃州大野郡沢村宗門御改人数増減帳 明治三年三月

三七七 〔濃州大野郡辻村宗門御改帳・宗門御改人数増減帳〕 明治三年三月 縦綴 一

① 濃州大野郡辻村宗門御改帳 明治三年三月

② 濃州大野郡辻村宗門御改人数増減帳 明治三年三月

三八六 〔濃州大野郡下座倉村宗門御改帳・増減御改帳〕 明治三年三月 縦綴 一

① 濃州大野郡下座倉村宗門御改帳 明治三年三月

② 濃州大野郡下座倉村増減御改帳 明治三年三月

三八九 石河系譜 (江戸) 縦綴 一

家譜(石河家系譜) (江戸)

① 家譜(石河兵庫) (江戸)

② 家譜(石河伊賀守) (江戸)

③ 家譜(石河吉十郎) (江戸)

三七二 系譜(石河家系譜) 文化九年正月 縦綴 一

① 系譜(石河式三郎) 文化九年九月

② 系譜(何之誰(雛形)) (文化九年カ)

③ 系譜(石河三蔵) 文化九年九月

④ 系譜(石河三蔵) 文化九年九月

⑤ 系譜(石河全左衛門) 文化九年九月

三七三 系譜(竹腰小伝次) 寛政九年十一月 縦綴 一

\* 中表紙に「寛政九巳十一月松平伊豆守殿江御城付を以御差出させニ相成候事」と書かれた貼紙あり。

三七三 竹腰系譜草稿 (江戸) 縦綴 一

三七四

先祖書写(竹腰小伝次)

(江戸)

縦

一

三七五

系譜(成瀬隼人正家)

(江戸)

縦

一

三七六

志水(志水系譜)

(江戸)

縦

一

三七七

渡辺(渡辺系譜)

(江戸)

縦綴

一

① 渡辺(系譜) (江戸)

② 写(渡辺系譜) (江戸)

③ (渡辺家系図・渡辺半蔵規綱武鑑写) (江戸)

三七八

[他家系図]

(江戸)

縦綴

一

① 家譜 鏡嶋七郎左衛門 (江戸)

② 玉置之家筋(玉置家系譜) (江戸)

③ (石河家子女系譜調下) (江戸)

三七九

七歳様御親遠類書之留

享保一九年六月

縦

一

三八〇

久之丞様御統調(井野口久之丞親類書・遠類書)

嘉永二年一月

縦綴

一

① 久之丞様御統調 嘉永二年一月

② 遠類書 井之口久之丞 (江戸)

三八一

万之丞様御実方御親類并御遠類帳

(年未詳)

縦

一

三八二

遠山大膳様御母方御親類書御遠類帳

文化七年二月

御側御用人 林兵右衛門

縦

一

三八三

[親類書]

(文化六、天保六年)

縦綴

一

① 親類書(鏡嶋刑部) 天保六年四月

② 遠類書(鏡嶋刑部) 天保六年四月

③ 親類書(石河伊賀守) 寛政四年二月

④ 親類書(石河伊賀守) 寛政四年二月

⑤ 親類書(石河太八郎) 文化六年六月

⑥ 遠類書(石河太八郎) 文化六年六月

番号表題

年月日

差出(作成)↓宛所

形態・数量

三六四 [御統書]

(江戸)

縦綴 一

① 御統書(丹後守様) 二月

② 替目親遠類書(石河太八郎) 天保一五年六月

三五五 [遠類書]

(寛政一〇〜文化七年)

縦綴 一

① 遠類書(遠山大膳) 文化七年一月

② 親類書(石河戸三郎) 寛政一〇年九月

③ 遠類書(石河戸三郎) 寛政一〇年九月

三六六 [御親類書]

(文化七〜一四年)

縦綴 一

① 御親類書 文化一四年五月

② 親類書 文化七年一月

三六七 [親類書]

(寛政三〜一〇年)

縦綴 一

① 石河甚太郎殿親類書扣写 寛政三年七月

② 親類書(石河戸三郎) 寛政一〇年

③ 親類書(石河太八郎) 寛政五年五月二三日

三六八 [遠類書]

(文化六〜嘉永六年)

縦綴 一

① 遠類書(石河太八郎) 文化六年六月

② 遠類書(石河孟二郎) 嘉永六年六月

三六九 [遠類書]

(寛政四〜文化六年)

縦綴 一

① 遠類書(石河伊賀守) 寛政四年一二月

② 遠類書(石河伊賀守) 寛政五年五月一三日

③ 遠類書(石河伊賀守) 寛政五年

④ 遠類書(石河伊賀守) 寛政五年五月一三日

⑤ 遠類書(石河太八郎) 文化六年六月

三九〇

〔親類書〕

① 親類書(石河伊賀守) 寛政五年五月一三日

② 親類書(石河太八郎) 文化六年六月

③ 親類書 (年未詳)

(寛政五〜文化六年)

縦綴 一

三九一

〔親類書〕

① 親類書(石河太八郎) 文化七年二月

② 親類書(石河伊賀守) 寛政四年二月

③ 親類書(石河伊賀守) 寛政五年五月二三日

(寛政四〜文化七年)

縦綴 一

三九二

いろは寄之内書抜(石河・石川家)

\* 内容は寛永五年より天明六年に至る。

(江戸)

縦 一

三九三

いろは分限書抜(志水本家)

\* 内容は慶長一九年より延享二年に至る。

(江戸)

縦 一

三九四

いろは分限書抜(成瀬本家)

\* 内容は慶長一二年より延享三年に至る。

(江戸)

縦 一

三九五

いろは分限書抜(竹腰本家)

\* 内容は慶長一〇年より延享三年に至る。

(江戸)

縦 一

三九六

いろは分限帳書抜(渡辺本家)

\* 内容は慶長一五年より延享二年に至る。

(江戸)

縦 一

三九七

渡辺主馬家筋いろは寄之内書抜

\* 内容は明暦三年より元文五年に至る。

(江戸)

縦 一